

サラリーマン川柳(苦勞した 寝ぐせも今や 懐かしい)(金いらす 休日いらす テレビ旅)(陰口言う アンタがいちばん 言われてる)(「誓います」今なら言える「違います」)



第1109号2022.5.11  
連合中越地域協議会  
長岡市愛宕3-7-24  
TEL 0258-86-0111  
FAX 0258-86-0884  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円



活闘争では「長い間の構造的デフレ、30年間労働者の平均賃金が上がってこなかった。社会保障費が増加し可処分所得は減少した。これらの課題を解決することが労組にかけられたものでもあった。結果、昨年より効果的と思うが、コロナ禍に加え、資源価格の高騰や、物価上昇、円安で非常に厳しい状況が続いている。粘り強い交渉を続け、組合員の期待に応えてほしい」

みの追求を求めた。次に来賓として出席された牧野連合新潟会長と花角新潟県知事、大滝長岡市副市長から祝辞が述べられた。

段なじみの無い方も、心を癒やされたようだ。  
**地域貢献として寄贈**  
長岡地区大会「地域貢献事業」は、NPO法人市民協働ネットワーク長岡「笑顔いきいきファンド事業」に30万円。羽賀友信代表理事に、矢島実行委員長から手渡された。



募金出陣中

# 第93回メーデー各地区大会開催

## 長岡地区は長岡市立劇場、3支部でも地区大会を開催



第93回メーデー長岡地区大会が5月11日(日)に開催された。参加者は昨年より多い300人超。コロナ禍により参加者を大幅に縮小し、座席間隔をあけての開催。受付では担当者が、体調確認、手指消毒、検温実施を呼びかけ、昨年同様に参加者には不要

第93回メーデー長岡地区大会は、昨年同様にコロナ禍の影響から従来の規模を大幅に縮小して、感染防止対策をとりながら実施。長岡地区大会は長岡市立劇場大ホールで、見附地区大会は見附市文化ホールアルカディアで、小千谷地区は小千谷市総合産業会館サンプラザで、北魚沼地区は小出郷福祉センターで開催された。

「メーデー起源朗読」で大会がスタートした。主催者挨拶では矢島実行委員長が、「コロナ禍で、デモ行進を中止した。早くデモ行進やプラカードコンクールなど従来のメーデースタイルが戻ってくることを期待したい」と述べ、「働くことを軸とする安心社会の実現に向けた地域協議会活動、日本一の地協を目指す原動力は構成組織・組合員」と変わらぬ参加を求めた。また、県知事選挙では花角知事を支持決定したこと、2022春季生



待に「スピーチ」等

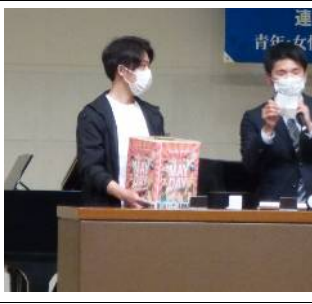


と述べたほか、今夏の参議院選挙への取り組み



ヴァイオリン・佐々木将公、阿部智子、ヴィオラ・加野晶子、チェロ・片野大輔。コントラバス・星野勝彦、ピアノ・小林ようこ、そしてソプラノ・

坪内麗音の皆さん。素晴らしい演奏に曲目の解説も加わり、普



最終盤は、大抽選会。お米、長岡市共通商品券、バス券、クッキーが用意され、70人程に賞品が当選した。ま

た、ロシアのウクライナ軍事侵攻を厳しく非難し、世界の恒久平和を願って、参加者全員に「ひまわりの種」が配られた。



フードドライブ募金

フードドライブ募金  
ロビーではフードドライブとウクライナ救済募金を実施。18350円は、ウクライナ

救済カンパとして日本ユニセフ協会、国連UNHCR協会へ寄付することが発表された。大会最後は、メーデー宣言採択。番場副実行委員長の閉会挨拶に続いて、矢島実行委員長が団結ガバロウ三唱で終了した。

サラリーマン川柳 (高齢化 十年経っても まだ若手) (値段見て これが似合うと 妻が着せ) (年の差婚 四十路過ぎると チャンス無し) (紫外線 防ぐ厚塗り 化粧ひび?)

### 北魚沼支部

第93回北魚沼地区メーデーは5月1日に開催。地元の米山隆一衆議院議員等4人の来賓を含め32人が参加しました。



山本実行委員長は式典あいさつの中でロシアのウクライナ侵攻に触れ、「武力で紛争解決はできない。国民の支持が戦争遂行の鍵。戦争支持の世論は政府によって作られてしまう。それは政府による情報統制・煽動、反対者への弾圧、基本

的人権の蹂躪を伴う」と指摘。働く者が力をつけるために、労働条件等職場の問題を解決する取組に加え、政治にも目を向け、働く者が連帯して行動することが重要だと訴えました。式典終了後は、構成組織の活動支援のための抽選会を行いました。



感染対策による規模縮小で役員中心の参加体制でしたが、3年振りに集会ができて嬉しかったです。実行委員をはじめ役員の皆様に感謝いたします。

### 小千谷支部

4/30、小千谷市総合産業会館サンプラザにて、第93回小千谷地区メーデーを開催した。

昨年に引き続き規模を縮小し、デモ行進は中止し式典のみの開催とした。井浦実行委員長の挨拶では「課題山積の社会情勢の中、我々の労働運動の重要性は益々高まっている。しっかりと団結し存在感を示すことが大切」と述べた。ご来



賓として長谷川有理市議、駒井和彦市議、源川労金小千谷支店長、板倉こくみん共済coop中越支所長をお招きしご挨拶をいただいた。また、例年行っているフードバンクへの食料品寄付活動は縮小開催で十分な量が見込めないため、今回はカンパ金の寄付活動に切り替え、各組織でカンパ活動を行い集めたカンパ金を式典の中でフードバンクながお代表の山崎一雄様に贈呈した。



スローガンとメーデー宣言を参加者全員で確認し、最後は“団結ガンバロー”で連合小千谷支部の団結を誓い合い締めくくった。



# 第93回メーデー 各地区大会特集

## メインスローガン

一人ひとりが尊重される 多様性を認めあう社会をめざし  
みんなが輝く 未来をつくらう!

## 全県統一テーマ

誰ひとり 通りのこさない 働く仲間と未来をつなごう



## 見附支部

第93回見附地区メーデーを4月27日18:30より見附市文化ホールアルカディアにて、来賓稲田亮見附市長、菊田真紀子衆議院議員、小泉勝県議会議員、佐々木志津子市議会議員を招いて開催した。

坂爪実行委員長は冒頭の主催者あいさつで、「春季生活闘争において多くの組合員にとってプラスとなる回答を得ることが出来た。しかしながら中には労働条件等の回答ではそこから取りこぼされてしまう組合員も少数ながら存在するの事実で、そういう少数の組合員を救済すること、それこそが組合活動の本来の役割であり、その本来の役割を初心に立ち返って再確認



してもらうためにも今回のメーデーを開催することにしました。」と述べた。

また記念講演として、フードバンクみつけの樺澤事務局長より「SDGsからフードバンクみつけの取り組み」というテーマで講演をいただいた。ちなみに今回のメーデー会場入り口にフードバンクみつけのフ



ードドライブ受付が設けられメーデー参加者から多くの食料品が寄せられていた。

そして最後は坂爪実行委員長の音頭によりコロナ禍という状況も踏まえ全体での発声こそ無いものの力強い「団結ガンバロー」で締めくくり閉会となった

今回のメーデーは、今の自分はどこを向いて誰と向き合って組合活動に取り組むべきか、また組合活動の本来あるべき姿を再認識するメーデーとなった。